

科目分類	専門分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	診療を補助する技術 (与薬/検査/包帯)	学 期	後 期	久保田 佳奈 (看護教員) 高野 さくら (看護教員)
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目的 (ねらい)	診察・検査は病気の診断、病態の把握や予後の推測、治療効果の判断などに活用されるとともに、検査から得られる情報は看護情報としても重要な意味を持つ。検査自体が患者の心身両面に苦痛をもたらす場合があり、検査の前段階から適切な援助が必要になる。患者が安全・安楽に検査や診療を受けるために必要な知識や技術を習得する。			
目 標	(与薬) 1. 与薬に関する基礎的知識を理解する。 2. 与薬における看護師の役割を理解する。 3. 与薬の原則と注意事項を理解する。 4. 与薬の方法を身につける。 (検査/包帯) 1. 診療における看護師の役割を理解する。 2. 診察、検査、治療時の介助方法を身につける。			
授 業 計 画	担当教員：久保田 佳奈			
	1. 与薬			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	与薬の概要	1) 与薬の種類・方法 与薬における看護師の役割と責任 薬物動態	講義
	2	内服薬・外用薬	2) 内服薬の投与方法と観察点 外用薬の投与方法と観察点 適応と目的	講義
	3	経口・直腸内与薬演習	3) 経口薬与薬・直腸内与薬	演習
	4	血管外注射の概要・詳細	4) 注射法とは 血管外注射の概要・方法・留意点	講義
	5	静脈内注射	5) 注射法とは 静脈内注射の概要・詳細	講義
	6,7	血管外注射	6), 7) 血管外注射の演習 皮内注射 皮下注射 筋肉内注射	演習
	8	注射法で使用する機器 静脈内注射の準備	8) 静脈内注射の演習 輸液ポンプとシリンジポンプ 薬液溶解と吸い上げ	演習
	9,10	静脈内注射の演習	9), 10) 静脈内注射の演習 三方活栓を使用したワンショットの演習 翼状針での点滴の演習 滴下合わせ (自然滴下)	演習
	担当教員：高野 さくら			
	2. 検査/包帯			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	診察、検査における看護師の役割	1) 検体の採取と扱い方 (血液、尿、便、痰)	講義
2	検査に伴う援助技術	1) 造影 (上部消化管造影) 2) 内視鏡 (胃、大腸、心カテ) 3) 気管支鏡	講義 DVD	
3	”	4) 穿刺 (骨髄、腰椎、腹腔、胸腔)	講義/演習 DVD	
4	創傷管理の基礎知識	1) 創傷管理について 2) 包帯法について (腹帯、三角布、巻軸帯)	講義 講義/演習	
5	静脈血採血	1) 静脈血採血方法について	講義/演習	

<b>教科書</b>	新体系 看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ (メジカルフレンド社) 看護技術プラクティス第4版 (Gakken)
<b>参考文献</b>	写真でわかる基礎看護技術 (インターメディカ) 写真でわかる臨床看護技術① (インターメディカ) 写真でわかる臨床看護技術② (インターメディカ)
<b>評価方法</b>	1. 与薬 (70点) 2. 検査・包帯 (定期試験 25点、態度・提出物 5点 合計 30点) 合計 100点満点での結果を最終評価とする。
<b>関連科目</b>	解剖生理学Ⅰ、Ⅱ 薬理学 心理学 人間関係論 各看護学 病理学各論 臨床検査
<b>自己学習に関する指針</b>	単に知識を得ることだけでなく、授業の復習をし、分からないことはその都度調べ、学習し続ける姿勢を身につけていきましょう。また、技術の習得するためには、繰り返し技術練習をすることです。1回で終わらず何度も練習し技術向上を目指しましょう。
<b>その他の通知事項</b>	